

2024年4月18日

## 和歌山県立医科大学附属病院に入院・通院されている患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力のお願い

当院では、患者さんの診療情報を用いた以下の臨床研究に試料・情報を提供しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。通常の診療でおこなう治療以外の検査や投薬などを行わない研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

地域のPOT(PCR-based ORF Typing)法による分子疫学解析結果の情報共有に関する検討

### 2. 研究責任者と本学の担当者

研究責任者

大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学 掛屋 弘

本学担当者

和歌山県立医科大学附属病院 感染制御部 主任 辻田 愛

### 3. 研究の目的

院内感染対策を強化するために、薬剤耐性菌（薬が効かない細菌）等の地域での蔓延状況を細菌の遺伝子検査（POT法による分子疫学解析）を用いて調査する目的です。和歌山県立医科大学附属病院を含めた約20の他施設で行います。

### 4. 研究の概要

#### (1) 対象となる患者さん

2020年1月以降入院された患者様から検出された遺伝子検査が実施可能な菌（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌：MRSA、緑膿菌、アシネトバクター菌、薬剤耐性大腸菌、クロストリジウム菌）が検出され、菌の遺伝子解析を実施した方が対象です。

#### (2) 協力をお願いする内容

診療録、検査データを電子カルテ閲覧させていただきます。

#### (3) 実施機関

2020年1月1日～2026年12月31日

### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報は、菌株情報のみで患者さんを特定できる個人情報は含みません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際は患者さんの個人

情報が公表されることはありません。

#### **6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合**

本研究では、細菌の遺伝子検査結果をだれのものかわからないようにして研究に使用いたします。患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、結果を使用する前であれば、本研究への参加を拒否できます。その場合は、下記までご連絡ください。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。

#### **7. 問い合わせ先**

和歌山県和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学附属病院 感染制御部 担当者：辻田 愛